

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設独自の理念を作成提示し、毎日職員、職員と共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方に運営推進会議に参加して頂いている。町内会に加入している。	町内会に加入し、どのような活動を行っているのか記載した方がよい。町内会の活動自体少なくなってきた。総会に参加しているが、それ以外はあまり活動出来ていない状況である。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では民生委員や町内会長、地域の方、ご家族にお声がけし参加して頂いている。情報交換や意見交換等を行いサービス向上につなげている。			
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時、日々の運営の質問、相談などを行い連携している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束についての勉強会を行い、理解を深め、身体拘束にならないケアを実施している。身体拘束禁止対象チェック表を設け意識づけし、全職員で日々のケアに努めている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待についての勉強会や研修に参加し理解を深め、虐待に繋がる言動・行動に注意し対応している。虐待防止マニュアルがある。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援・成年後見人制度について学び、必要に応じ、利用者や家族に情報提供している。勉強会を行い職員に理解してもらうようにしている。			情報提供の仕方について、家族に直接説明や、書面で伝えている。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時には利用約款・重要事項説明書を用いて十分な説明を行い、疑問や質問にはその都度対応している。また利用料金等の契約改定時にも十分に説明し、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	意見箱の設置や満足度調査を行い、意見を反映している。また、来所時には生活の様子を報告し、思いや意見を伺い対応している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月1回のスタッフ会議や定期的な面談を行い、意見や提案を反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の事情に合わせ可能な限り勤務調整等を行っている。定期的な健康診断等を行っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修・勉強会の年間研修計画を作成、研修参加後はホーム内で報告している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホーム協議会に参加し、情報交換している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	お手伝いやレクリエーションなどでコミュニケーションを図り、信頼関係作りに努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	インフルエンザ、コロナの為、外出ができない事が多い。施設内の面会が出来るよう調整し対応している。			

Ⅱ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様と話をし希望・意向を見つけている。困難な場合は家族から情報を聞くように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	アセスメント後にカンファレンス会議を開催し、職員間で意見交換をしている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護記録や職員の気づき等をケアプランの見直しに活用している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療連携や、生活機能連携を行い、利用者の心身の状態維持に努めている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	現在はボランティアの訪問はない状態である。時々、母体施設で開催されるイベントに参加している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人、家族の意向に合わせ受診先を決めている。心身状態の変化などがあれば、受診時に医療機関に手紙や電話等で相談している。本人の状態によって職員も付き添い支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	訪問看護師との連携により、適時関係医療機関に情報提供し対応してもらえることで、受診・入院等スムーズに行えている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている	他スタッフと情報共有し、人としての尊厳を守りながら日々穏やかな日常生活を送れるように支援している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普通救命講習会、勉強会等に参加をしたり、マニュアルを整備し対応している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震、水害等のマニュアルを整備し、避難訓練や運営推進会議の場で地域の方の意見を頂くようにしている。避難訓練を定期的の実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護を受ける人の立場になり考えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の性格やペースもある為、ご本人様を焦らせない声掛け、傾聴するよう気を付けている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的ではないが、手作りおやつなどは作る工程から参加してもらい、食べる楽しみだけではなく、作る楽しさも職員と一緒にやっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事からの栄養摂取が難しい場合は、栄養補助食品や手作りおやつで摂取して頂いている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立を促すために、声掛けをし、自分で出来る所は自分で行ってもらい出来ない所をサポートしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を使用し管理しながら、個々に合わせた声掛けや対応を心掛けている。一人ひとりのパターンに応じて事前誘導している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間や順番等の希望を聞きながら入っていただき、拒否がある時は時間を置いてから再度声掛けをしたり、着替えや足浴等に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の生活状況、様子に応じ安心して眠って頂けるよう支援している。日中も必要に応じ昼寝をすすめたり、夜間夜付きの悪い場合必要に応じ眠剤を服用している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カルテにお薬情報をファイルし、常に確認できるようにしている。変更時の服用による状態の経過や変化は記録し家族や医師に相談し対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の力量や役割、希望等を把握し、自然な流れで張り合いを持って頂けるよう楽しく通過ごして頂けるよう支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月の行事を利用し、外出企画を計画、支援したり、ご家族様の協力を得ながら希望に添えるよう努めている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理のできない利用者には家族と相談をして合意の上で職員が代行して管理している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	公衆電話にいつでも掛けられるように支援している。また、家族との年賀状のやり取り等支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天窓を利用し自然な光で日中は落ち着いた雰囲気です。装飾は少な目で配色にも注意し、場所が分かる工夫をしている。また、季節に合わせて玄関やフロア等に装飾を行い掲示板に写真等を飾ったり、生活音や室温等を適切に管理している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のニーズの把握が出来れば、その人らしい生活に繋げる事が可能となるのではと考えている。個々により偏りがある為ニーズの把握をし、その人らしい生活を送れるよう支援していく必要がある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、習慣、趣味活動の把握し、生活場面で得意な事を生かしながら過ごして頂きたいと考えているが、スタッフの提案したものを行ってもらっている事が多い。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康管理を行っている。変化が見られた際、対応が遅くなり、悪化するケースも見られるため、早期発見、対応をしていく必要があり、多職種からのアドバイスを受けながら支援していく必要がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	想いを伝えられない利用者に関しては、施設の日課に合わせてしまっていると感じる。出来るだけ無理のないようにすすめている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの物を持ってきてもらっても管理が行き届かないケースも見られる。本人が大事にしているものをアセスメント・ケアプラン等で反映できればと思う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	購入しやすい物であれば、買い物に連れて行って実際に選んでもらう体験等身近な外出に繋げていきたい。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事動作等本人の得意な事を役割として活動されている方もいるが、全入居者の状態把握が不十分なため、活動場面を探っていきたい。			
47		本人は、自分がいいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常会話での関わりを多く持つ事が出来ている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	もう少し家族、地域との交流が増えるような場面を作っていければと考えている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目立った混乱、興奮なく落ち着いて過ごされているように感じる。より良い日々を送る事が出来ているか判断は難しいが、不安なく過ごされているのではないと思う。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝礼拝時唱和し実践できるようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方に運営推進会議に参加を依頼し施設の状況を報告している。利用者と一緒に施設周辺のごみ拾いをしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議時に施設の状況を報告し参加者から意見を聞きそれを踏まえてサービス内容の検討をしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時には電話やメール、窓口等で相談しアドバイスをしてもらっている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束禁止対象チェック表を用いて確認し介護をしている。定期的に勉強会をおこない学習している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の対応やことばづかいが虐待に該当しないか確認しながら介護をしている。また勉強会に参加し学習している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度の研修に参加したり、入居者に数人成年後見制度を利用しているかたがいるため関わりを通じて学んでいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者が家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や料金改定時には家族へ説明し同意してもらっている。退居後にも必要時相談に応じている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話で話をした際意見をきいている。玄関に意見箱の設置したり年1回満足度調査を行い反映できるようにしている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時、話を聞き対応している。またスタッフ会議等で意見を聞いている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の健康診断を実施し必要時には受診を勧めている。個々の事情に合わせ可能な限り勤務調整や休みをとってもらっている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に年間の自己目標をたててもらい仕事をしてもらっている。各々の職員にあわせた研修に参加してもらい研修後は報告書作成し他職員に伝達講習をおこなってもらい日々の介護に活かしている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区のグループホーム協議会に参加し、同業者との交流、連携を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を聞き得意なこと、やりたいことができるように努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出可能としているが感染対策で入室しての面会が数年できていなかったため来館者は少なくなっている。遠方の家族等から電話がかかってきたときには援助している。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人より思いや意向を聞いている。聞くことが困難な利用者へは普段の様子や生活歴、家族等から情報を得て把握するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は本人家族、リハビリ担当等の意見を踏まえて職員と話しあい作成している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録を記入し、気をつけなければならない事項等は申し送りノートに記入して情報共有し介護計画の見直しをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護ステーションと医療連携体制を整えており24時間体制で対応してもらっている。また生活機能向上のためリハビリ職に訪問してもらい心身の状況を評価してもらっている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ときどき地域の公園に出かけたりしているが地域資源をあまり活用できていない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人家族と相談しながら受診先を決めている。必要時には眼科等の受診の相談や受診支援をおこなっている。家族が受診介助する際には状態を書面や電話にて病院に報告している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の相談員や看護師と連絡をとり状況確認し治療後安心して退院できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重症化や終末期に向けた方針の共有と支援	重症化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に看取りに関する説明をおこなうアンケートに記入してもらい、本人・家族からの意向をきいている。看取り対応になったときは医師や看護師からアドバイスをもらいながらおこなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを整備しそれに基づいて行動している。施設内に AED を設置しておりほとんどの職員は普通救命講習を受講し使用方法を学んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震、水害等の避難訓練をしたり運営推進会議の際に地域の方の意見を頂いている。災害時に備えて食料や飲料水を準備し管理をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ひとりひとりの人格を尊重しながら声掛けや介助をしている。職員へは個人情報取扱いやカルテの管理に注意するように説明している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何かおこなう際は本人や家族の希望、心身の状況を踏まえ本人のペースにあわせて対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望を取り入れながら季節にあわせた食事を提供したりときどきおやつと一緒に作ったりしている。毎食後片付けを手伝ってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の水分と食事摂取量を記入し必要量摂取できるようにしている。利用者の摂取状況に応じて食事形態を変更したり、早く食べる傾向のある利用者へは声がけをしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況にあわせて毎食後声掛けをし、必要時介助をしている。拒否がある利用者へは少し時間を置いてから再度声がけしおこなってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を使用し利用者ごとの排泄パターンを把握している。それにあわせて必要な利用者へは声掛けや介助をおこなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望や心身の状況にあわせながらひとりずつ入浴している。拒否のある利用者へは時間を置いて何回か声掛けし入浴してもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活リズムにあわせて休息や就寝の介助をしている。不眠がちな利用者へはなるべく日中の活動を多くしてもらうように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方されている薬の内容をカルテに綴じ内容を把握できるようにしている。薬の変更等気をつけなければならないことは介護記録等に記入し職員に分かるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望やできることにあわせて掃除や食器拭き、洗濯物たたみなどのお手伝いをしてもらい、それが役割だと重いおこなっている利用者もいる。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ときどき希望にあわせて職員とドライブに行ったり家族と一緒に出かけ昼食を食べてくる利用者もいる。			

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望に合わせて少額の金額を所持している利用者がいる。ときどき自動販売機で飲み物を購入したりしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	公衆電話を設置している。ひとりできない方へは介助をしている。また、家族等から手紙やはがきが届いたときは必要時介助をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、施設内は季節や時期にあわせた装飾をおこなったり利用者がみやすいところに行事の写真を飾っている。室内は温度、湿度、日差しの状態にあわせて快適に過ごせるよう調節をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向が把握できる方はなるべくそれに合わせた暮らしをしてもらっている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、習慣、好きなこと等に基づいて支援をおこなっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師やリハビリ職等と連携し専門的なアドバイスを受けながらケアをおこなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々に合わせた時間の使い方をしているが習慣にあった生活まではできていない。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や思い出の物等を居室に置いている方もいるが全員ではない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とときどきドライブに行ったり、家族と外出したりしているがあまり多くはない。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合った軽作業やお手伝い等をおこなっているが全員まではできていない。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者間の会話が少ないため職員から声がけをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣、地域との交流が少ないためこれから少しずつ増やす機会をつくっていききたい。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の不安を訴える方が少ないため安心して静かな環境で落ち着いた生活を送ることができていると思われる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

(参考様式4)

事業所名 グループホーム市川
作成日: 令和 7年 3月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	25	職員へ火災通報装置の使用方法やパトホンに登録している連絡先を説明しているが、全員理解できていない。	非常時きちんと火災通報設備の操作ができ、利用者を安全に避難させることができる。	令和7年4月～11月 避難訓練時や毎月のスタッフ会議時に職員へ火災機器の使用方法や連絡先を説明しおこなってもらう。 令和7年12月～令和8年3月 職員が実際できるか確認し、必要時再度説明する。	12ヶ月
2	2	コロナ禍以降、地域に関わる活動が少なくなり、再開できていない。	地域の方と関わる機会が増える。	令和7年4月～5月 地域の活動に関して計画をたてる。 令和7年6月～令和8年2月 計画に合わせて準備し、実施する。 令和8年3月 評価する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。